

関係各位

京都府病虫害防除所長
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

発生予察注意報第 1 号

作物名：果樹全般（特にモモ、ナシ、カキ、カンキツ類）

病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシなど）

- 1 発生地域： 全域
- 2 発生時期： 6 月～7 月
- 3 発生量： やや多い～多い
- 4 注意報発表の根拠
 - (1) フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの 5 月第 1～6 半旬の誘殺数は、京田辺市 5.4 頭（平成 2.8 頭）で **平成比やや多い**、亀岡市 25.6 頭（平成 8.8 頭）で **平成比多い**、京丹後市 7.8 頭（平成 7.0 頭）で、**平成比やや多い**発生であった（表 1）。
 - (2) 予察灯（B L 20W）におけるチャバネアオカメムシの 5 月第 1～6 半旬の誘殺数は、京丹後市 11 頭（平成 23.6 頭）で平成並の発生であったが、京田辺市 40 頭（平成 11.1 頭）で **平成比多い**、亀岡市 2 頭（平成 0.5 頭）で **平成比やや多い**発生であった（表 2）。
- 5 防除上の注意事項
 - (1) カメムシは夜行性であり、夕方の防除が有効である。
 - (2) 被害は、園による差が大きく、また、園の周囲で多くなるなど多様である。園内外の成虫の発生状況などを常に観察し、飛来を認めたら防除する。**特に、山林等の隣接園では注意する。**
 - (3) 合成ピレスロイド剤の連用は、ハダニ類やカイガラムシ類が多発する恐れがあるので避ける。
 - (4) 防除薬剤を使用する際は使用基準を厳守すること。なお、最新の農薬情報は農林水産省ホームページの「農薬コーナー（<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html>）の「農薬登録情報検索システム」を参照のこと。

表1 フェロモントラップ誘殺数(チャバネアオカメムシ)

調査年	設置場所		
	京田辺市	亀岡市	京丹後市
H26 (平成比較)	5.4 (やや多い)	25.6 (多い)	7.8 (やや多い)
平年値	2.8	8.8	7.0
H25	0.0	4.0	1.0
H24	7.0	1.0	6.0
H23	1.0	1.0	4.0
H22	3.0	22.0	17.7
H21	0.0	6.0	5.0
H20	2.0	20.7	2.0
H19	0.0	4.0	1.0
H18	1.4	7.0	1.0
H17	0.0	4.0	3.0
H16	13.9	18.0	19.3

表中の数値は、5月第1～6半旬の合計値(頭)

表2 予察灯(20WBL)誘殺数(チャバネアオカメムシ)

調査年	設置場所		
	京田辺市	亀岡市	京丹後市
H26 (平成比較)	40 (多い)	2 (やや多い)	11 (並)
平年値	11.1	0.5	23.6
H25	0	0	0
H24	6	1	1
H23	0	0	1
H22	16	0	24
H21	1	0	0
H20	4	0	20
H19	0	0	1
H18	15	0	136
H17	0	0	0
H16	69	4	53

表中の数値は、5月第1～6半旬の合計値(頭)